

木彫りに祈りを込めた男 **森山祐吾** 木版画家・阿部貞夫の生涯

第31回 (2011年) 「北海道ノンフィクション賞」入賞 (佳作)

強く、刀に込める、バレンに込める、命を込める。

僕は、万人に愛される生命のこもった作品を生み出してゆかねばならない使命がある。だから僕は美の神に祈る。ここをこめて祈る。すると美の神は、いつも僕に快くにつきりとほほえみをかけて、自然の神秘の扉を開いて下さる。そして美の真実の相を僕の眼前に展開して下さい。だから僕はありがたい思いに溢れて、それを作品に込めるのです。



目次

はじめに

序章 惜しまれたその死

- 1 非凡な留萌の青少年期
- 2 東京時代——ペンキ屋修業で学んだこと
- 3 留萌時代——闘病と生活苦の中で彫刀を握る
- 4 釧路時代——市民の助けで活躍の機会を得る
- 5 再婚と摺師の無言の教え
- 6 肉体の衰弱と苦悶の日々
- 7 精力的な創作活動と初個展の成功
- 8 一流版画家として認められる
- 9 札幌時代——逆境を乗り越え新たな活躍
- 10 別離と新たな出会い
- 11 感動、感涙に包まれた母校での講演

終章 遺作展が伝えるもの

あとがき

主な参考文献および引用資料



森山 祐吾 (もりやまゆうご)

北海道史研究者・ノンフィクション作家

1940年北海道オホーツク管内雄武町生まれ。中央大学卒。民間会社定年後、北海道史の研究を進める中で、時代に翻弄されながらも強い信念をもって生き抜いた人々や、意外な史実が多いことに気づく。以来、これら埋もれた歴史に光を当て、私塾「北の歴史塾」の講座や各所の講演を通して語り伝えている。

主な作品に「海の総合商社・北前船」、「宗谷海峡を渡った侍たち」、「北の大地を開いた薩摩人」、「幕末の通詞・森山栄之助の活躍」、「北海道占領をめぐる米ソの暗躍」、「石川啄木の北海道時代」などがあるが、いずれも未刊行。

主な参考文献および引用資料

- 阿部貞夫著『阿部貞夫木版画集・創刊号 (郷土風物編)』
 〃 『彫波』 (阿部貞夫木版画集・第2号) 阿部貞夫記念版画公募展実行委員会編
 阿部貞夫版画集出版委員会編・刊『阿部貞夫版画集』
 留萌市民文化誌『波灯』第2・4・17号—「特集・阿部貞夫」
 留萌高校生徒会機関誌『萌陵』第21号—「阿部貞夫記・一つの願い」
 留萌高校開校45周年記念講演記録『独り立つ精神』—「講師・阿部貞夫」
 留萌文協創立10周年記念誌「版にこめる詩魂『阿部貞夫の人と作品』」留萌市教育委員会
 留萌文連・文協30周年記念特別企画『北を穿つ』—留萌の芸術家合同遺作展
 留萌市市史編纂室『留萌市史』留萌市役所
 「もう再発見」編集委員会編『ふるさと再発見』留萌郷土史研究会
 更科源藏・川上澄生共著『北海道絵本』さるるん書房
 大田耕士編『版画の教室—生活版画の手引き』青銅社



お祈りを捧げ終わるやいなや雷鳴と共に大粒の雨が襲った。一時の土砂降りだったが、止むとすぐに雲間から神々しいばかりの光が差し込み、その後、あたかも墓園を守るかのように大きな虹がかかった。

刻々と変わる神秘的なその様に、版木に己の魂の叫びと人間社会への祈りをこめた、阿部の生涯を垣間見る思いがした。そして雨上がりの虹、白い墓石、濃い樹林のコントラストを、阿部ならどんな風に版画で表現するのかと想像してみた。

(あとがきより)

- 加藤定明著『版にこめる詩魂』日刊留萌連載記事
 笠原英生編『阿部貞夫年譜』・『阿部貞夫版画館建設運動の軌跡』
 〃 著『忘却のかなたへ暮るなかれ』・『阿部貞夫さん蘇る』
 〃 著『ブランゲ文庫の中の阿部貞夫』
 釧路市史編纂室『釧路市史・第3巻』釧路市
 釧路市立図書館編『読書人』第7巻第3号—「阿部貞夫記・日本の版画」
 米坂ヒデノリ著『釧路の美術・演劇』釧路叢書第2巻—「第2、3章及び年表」
 浅川泰著『氷華』No.19—「阿部貞夫と留萌」北海道立旭川美術館編
 〃 『阿部貞夫—彫波の世界』北海道立近代美術館展覧解説資料
 新聞掲載関係記事—日刊留萌、釧路新聞、北海タイムス、北海道新聞、朝日新聞

第31回 (2011年)

「北海道ノンフィクション賞」入賞 (佳作) 作品

貴店番線	発行: 藤田印刷エクセレントブックス TEL0154-22-4165 FAX0154-22-2546		
月	木彫りに祈りを込めた男 木版画家・阿部貞夫の生涯	森山祐吾 著	2023年9月13日 第1刷発行 発行所 藤田印刷エクセレントブックス 判型 文庫判(92頁) 印刷・製本 藤田印刷株式会社
日			
冊			
	定価770円(税込) ISBN 978-4-86538-157-3 C0121 ¥700E		

ご注文はJRCへ FAX03-3294-2177まで